

男女の 賃金格差解消は 経済・社会の 問題解決のカギ！



11/9 日
13:30 ~ 16:00

(開場 13:15)

会場：東京ウィメンズプラザ
第二会議室

4月27日まで働いてやっと同じ賃金！?

「イコール・ペイ・デイ」

——世界中で毎年行われているこのキャンペーンをご存じですか？
「女性が男性と同じ賃金を手にする日」です。賃金格差があるために女性
性は余分に働かなくては男性と同額にはなりません。

日本でもし男女が 2024 年 1 月 1 日から同時に働き始めたら…
男性の 1 年分に女性が追いつくのは、**2025 年 4 月 27 日**。

——この日が日本の「イコール・ペイ・デイ」です。

男女の賃金格差が解消されれば、女性の力がもっと活かされ、消費や投資が増え経済が成長します。性別役割
分業の意識が変わり、貧困は減り、少子化は緩和…社会の持続可能性を高めるその効果は計り知れません。
男女の賃金格差についてともに考えてみませんか。未来を変えるヒントを、一緒に見つけましょう！

〈第1部〉男女賃金格差を考えるリレートーク

名取 はにわ

元男女共同参画局長
日本 BPW 連合会
前理事長

澤田 順

フォス・ジャパン株式会社
代表取締役社長
BPW 東京クラブ所属

平田 美穂

元中小企業家同友会
全国協議会事務局長
BPW 東京クラブ会長

〈第2部〉グループディスカッション

■事前申込み 外部申込みサイト

Peatix または Google フォームからお申込みください。



または



<https://bpw-de20251109.peatix.com>

<https://forms.gle/qLNXMBVwEbaYNRM46>

■参加費 500 円（資料代）

※定員に余裕がある場合は当日受付できます。

託児あり

先着 5 名
託児申込 〆 切
10/27 (月)

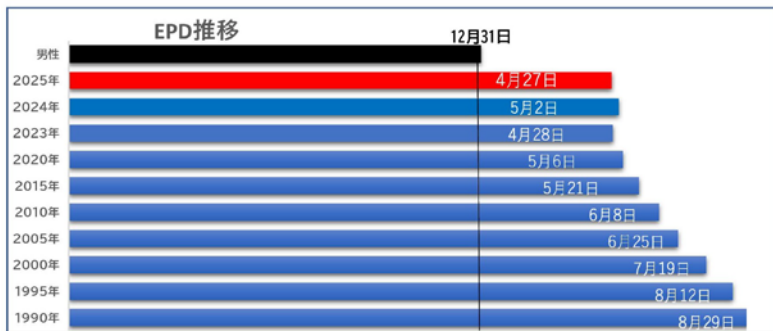


認定NPO法人日本 BPW 連合会・BPW 東京クラブ
<https://www.bpw-japan.jp>

お問い合わせはメールにて
tokyo-kikaku@bpw-japan.jp

●イコール・ペイ・デイとは？

BPWは2012年から「イコール・ペイ・デイ（Equal Pay Day）」活動を行っています。これは「男性の年収と同じ金額を女性が見るには、何日余計に働かなければならないか」を計算し、その日をEPDとして知らせる取り組みです。直接的な賃上げ運動ではなく、格差を“見える化”することで意識を変え、解消をめざす活動です。



●日本の現状は？

- ・男性の賃金を100とすると、女性は75.8（2024年調査）
- ・差は過去最少に縮小中
- ・しかし！G7で最大の格差！世界平均と比べても大きな開きがあります。

この格差は、女性の活躍の場を奪うだけでなく、社会全体の活力を失わせ、経済的にもマイナスとなっています。

●法改正も動き出しています

2025年6月4日、従業員101人以上の企業に男女間賃金差異の公表を義務づける改正女性活躍推進法が可決。日本全体で取り組むべき課題であることが、ますます明確になりました。

男女の賃金格差の「見える化」をさらに進め、社会を変える第一歩へ。一緒に考え、声を上げていきましょう！

□性別賃金の推移（令和4年(2022)賃金構造基本統計調査（全国）結果の概況より）とイコール・ペイ・デイ

EPD *黄色のマークは閏年	調査年 (前年)	男女計 賃金 (千円)	男性 賃金A (千円)	女性 賃金B (千円)	賃金格差 (%) 女性賃金/男性賃金	格差分の日数C (男性の年収 /女性の年収 -365日)
男性 12月31日						0
2025年 4月27日 *	2024年	330.4	363.1	275.3	75.81	116.41日
2024年 5月2日 *	2023年	318.3	350.9	262.6	74.83	122.73日
2023年 4月28日	2022年	311.8	342.0	258.9	75.70	117.16日
2022年 5月1日	2021年	307.4	337.2	253.6	75.20	120.32日
2021年 5月7日	2020年	307.7	338.8	251.8	74.32	126.11日
2020年 5月6日 *	2019年	307.7	338.0	251.0	74.26	126.51日
2015年 5月21日	2014年	299.6	329.6	238.0	72.21	140.48日
2010年 6月8日	2009年	294.5	326.8	228.0	69.77	158.17日
2005年 6月25日	2004年	301.6	333.9	225.6	67.57	175.22日
2000年 7月19日 *	1999年	300.6	336.7	217.5	64.60	200.04日
1995年 8月12日	1994年	288.4	327.4	203.0	62.00	223.67日
1990年 8月29日	1989年	241.8	276.1	166.3	60.23	240.99日

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者(注)のデータを使用。
(注：常用労働者のうち短時間労働者を除いたもの)

【イコール・ペイ・デイ算出方法】

- 1) 格差分の日数を算出
男性の年収（賃金A×12カ月）
÷ 女性の年収（賃金B×12/365） - 365日
= 1年を超えた格差分の日数C
- 2) 暦日付を算出
格差分の日数から暦日を算出（小数点以下切上）
格差分の日数C
- 1月(31日) - 2月(28日*) - 3月(31日)
- 4月(30日) ... (* 閏年は2月を29日計算)

BPWとは —

「Business and Professional Women」の略で、日本BPW連合会は、2023年7月25日に国連の経済社会理事会の特殊協議資格を取得しました。また、1958年より総合協議資格を持つBPW Internationalに加盟し、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上を図るとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的に活動を行っています。全国に11のクラブとアソシエーツがあり、地域ごとにも活動しています。

主な活動は、男女の賃金格差の見える化により格差解消を目指す「イコール・ペイ・デイ運動」、日本の男女格差の現状を訴求するジェンダーギャップ指数（GGGI）イベ

ント開催・提言、多様性社会を支える指導者を養成するダイバーシティ・エデュケーター（DE）養成事業、国際的な活動を目指す若い女性支援のCSW インターン派遣事業などを継続しています。

内閣府男女共同参画推進連携会議の当初からの構成団体で、2009年9月に法人化、2017年より認定NPO法人になりました。「統一テーマ：SDGs 達成の要ゴール5 ジェンダー平等実現へ加速！」を掲げています。



もっと知りたい！は
⇐ コチラから



認定NPO法人日本BPW連合会 <https://www.bpw-japan.jp>

東京都渋谷区代々木2-21-22 婦選会館303